

しべつ

議会だより

3月定例会

第154号

平成27年4月30日

行政報告	2~4
町政のそこが聞きたい	5
一般質問	6~8
予算審査特別委員会	9~10



全道、全国大会出場を目指し、頑張ってます。

標津卓球スポーツ少年団

育成会長 齊藤 幸雄
練習日 火曜日~金曜日 17:00~19:00

団員を募集しています。 小学1年生~高校生

発行 / 北海道標津町議会

編集 / 広報特別委員会

今年の冬の暴風雪や大雪 生産活動や住民生活に 大きな影響

金澤瑛町長の行政報告

暴風雪・大雪の 除雪対応と被害状況

今年の冬は、頻繁に発達した低気圧による暴風雪・大雪に見舞われ、昨年12月から昨日まで、暴風雪警報と大雪警報がそれぞれ8回発令され、特に1月27日から2月15日まで、ほぼ一週間毎となった。これらの暴風雪により、町内国道と道道は随時通行止めとなり、町道を含め町内の全域に亘り道路の通行不能な状況が発生し、酪農家への生乳集荷作業や学校の臨時休校、また、各種行事が中止・延期になるなど、生産活動や住民生活に大きな影響が生じた。通行不能による生乳の廃棄量は、3月5日現在で述べ46件で約52ト

ン、被害額はおおよそ480万円となっている。家畜への被害はなかったが、農場の牛舎屋根の一部倒壊が1件発生しているほか、簡易堆肥舎等合わせて4件の損壊被害があり、被害額は約3千万円となっている。また、度



重なる積雪により、建物の倒壊の危険性が高まった箇所について、要請により、独居高齢者住宅1軒、及び4農家の牛舎をそれぞれ職員を派遣（述べ32人）し除排雪の支援を行っている。除雪については、委託業者6社と町直営により実施しているが、1月末時点で予算額に対し88.2%の執行となる支出が確定したことから、2月以降の除雪予算が多額の不足が生じる見通しとなった。このため、2月23日開催の議会各常任委員会で2月分の除雪経費として1月分相当額の4千万円を、2月6日

を、2月6日

付けで専決処分をし、また、3月分除雪経費については、専決処分後の不足分6千万円の増額補正予算を本定例会に提出する旨、担当課から報告させた。

秋鮭資源 対策と不漁 原因の解明

本町の秋サケ漁獲量は7年続けて8千トンを下廻り、昨年は対前年42%減の4144トンと、大変深刻な結果となった。種卵確保数も他管内からの移入卵を含めて計画の90%しか確保できず、厳しい状況に直面した。これらの結果を受け、町としては漁業協同組合と対策協議を行っており、いかにして資源の回復を図るかであり、

漁業者、定置漁業部会、漁業協同組合、根室管内さけます増殖事業協会、そして町が一丸となって、しっかりとした対策に取り組んでいく。また、サケの不漁要因の解明調査については、北海道水産総合センターさけます資源部や北海道立総合研究機構さけます・内水面水産試験場で多額の経費をかけて継続しているが、広大な海洋域において極めて狭いポイントによる調査とならざるを得ない状況や、海域の多くがロシア領に及ぶこともあって、不漁要因を特定するにも至っていない。このことから然るべき時期に地元関係団体と一体となって国や北海道に対し、その原因解明に向け調査体制の強化等について強く要望して

標津高校の 存置対策

標津高校の存置対策は、従来から2問口確保に向けた対策を講じてきたが、昨年末の中学3年生の進路調査の厳しい結果を受け、新たな支援対策を打ち出した。この結果、平成27年度の出願者は、定員80人に対し平成10年の79人に次ぐ71人となり、2問口が確保された。標津高校は、本町の子どもの教育環境にとって大変重要な役割を担っており、引き続き積極的に取り組んでいく。



同意案件

根室町村等
公平委員会委員
渡辺 好之
標津町北2条東1丁目
〈任期〉
平成27.4.1～30.3.30

諮問案件

人権擁護委員
栗栖 敏博
標津町字川北1930番地4
〈任期〉
法務大臣の委嘱の日から
3年間

議会に関する申し合わせ〔改選後〕

3月9日に全員協議会を開催し、改選後の議会運営等について申し合わせをしました。

■常任委員会の複数所属

●2委員会制で複数所属とし、定数は次のとおりとする。

▽総務経済常任委員会 7人

▽文教福祉建設常任委員会 6人

●議長、副議長、常任委員長は複数に所属しない。

■常任委員会の所管課等協議報告事項

●行政側の議案等の所管課等協議報告事項は、合同委員会で開催する。

●その際は各常任委員長、副委員長が交互に務める。

●「閉会中の所管事務調査事件」の協議は、合同委員会の前後とする。

■その他

●意見書の取り扱い
議員控室に受理した意見書等をいつでも閲覧できるようにし、各議員が提出しようとするときは、議長に提出し議会運営委員会で審議する。但し、北海道、根室町村議会議長会や当町の団体から提出されたものは直接、議会運営委員会で審議する。

条例制定

○標津町議会委員会の条例の一部を改正する条例制定

提出者
議会運営委員長

藤巻 国治

意見書

○年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書

提出者

大垣 勇 議員

○雇用の安定を求める意見書

提出者

大垣 勇 議員

○農協関係法制度の見直しに関する意見書

提出者

議会運営委員長

藤巻 国治

○TPP交渉等国際貿易交渉に係る意見書

提出者

議会運営委員長

藤巻 国治

一般会計補正予算

主なもの

(単位:千円)

項目	金額	内容
起業等支援事業 〔交付金・繰越〕	6,000	新分野への起業支援 国 2,543
標津町まち・ひと・しごと創生本部活動費 〔交付金・繰越〕	5,294	創生本部活動・総合戦略策定のための人口ビジョン調査など 国 4,128
高齢者福祉施設開設準備金	50,000	標津福祉会が平成28年度開設をめざしている高齢者福祉施設への財政支援
子ども・子育て基金積立金	80,000	標津こども園の建設費の財政確保のための積立金
乳幼児紙おむつ購入費助成事業 〔交付金・繰越〕	2,012	0歳から2歳までに使用する紙おむつにかかる費用の助成 国 853
子ども医療費助成事業 〔交付金・繰越〕	3,960	子ども医療費の無料化。平成27年度からの拡大分(高校生拡大分) 国 3,960
酪肉経営振興対策基金積立金	30,000	政策積立
水産物ブランドづくり推進事業 〔交付金・繰越〕	8,872	船上一本メをはじめとする当町の各種製品の試験製造、試験販売、啓発などの対策 国 3,762
水産振興基金積立金	31,000	政策積立 30,000 寄 附 1,000
プレミアム商品券発行事業 〔交付金・繰越〕	18,840	商工会の商品券に30%のプレミアムを上乗せ 国 15,692 道 3,140
除雪及び排雪経費	60,000	除雪業務委託料の不足
標津高校存置対策事業 〔交付金・繰越〕	3,600	教科書・制服代助成、町外生徒の医療費助成(無料化) 国 3,200

一般質問

町政のそこが聞きたい

平成27年第1回定例会(3月6～13日)で3議員が一般質問をしました。
各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。

稗貫隆樹議員 ————— 6ページ

● 「地方創生」!!

「教育」と「女性の活用」から本町の取り組みを問う



吉田智議員 ————— 7ページ

● MMJ 「標津農業」の政策展望を質す TACS しべちゃ

● 循環型環境システム

バイオマスエネルギーの活用を…

● 認知症等徘徊高齢者に

最先端の「見守りサービス」の貸与を…



高橋幹雄議員 ————— 8ページ

● 国保税の軽減対策と広域化について



▼ 国民健康保険 [national health insurance]

自営業者、農業者、5人未満の個人事業所の労働者、健康保険が適用されない非正規労働者、失業者、定年退職した無職者、外国人等が加入する医療保険。国民の31%が加入。市町村が保険者となっている市町村国保と医師など同業者による国民健康保険組合がある。市町村国保は高齢者が多く医療費が高額となる一方、加入世帯の23%を無所得世帯、43%を保険料軽減世帯が占めるなど、財政問題が深刻化している。

「地方創生」！「教育立町」を 目指して戦略を

ふるさと教育を展開し 個性値を伸ばす教育力



稗貫 隆樹 議員

問 「地方創生」・人口減少対策5カ年計画を「教育立町」の視点からその教育環境の充実を図ることは重要。地域の「学力・教育力」の向上を目指す取り組みは。

公立小中学校の一貫教育を踏まえ小中学校校舎改築（耐用年数等考慮）、高校をも含めたICT化の早期実現、仮称「標準こども園」を含めた、幼児・児童生徒の能力・可能性を

引き出す「特色ある教育の展開」は。

老朽化しているプールの改築・改修も、地域の要望を踏まえての課題である。

上川管内東川小学校の新校舎改築の取組みも参考になるのでは。



東川小学校新校舎&記念アーチ

答 「学校教育」は児童生徒が社会に出てからの人間形成を行う訓練の期間。教育はエン

ドレスであり、一時の停滞も許されない。よって「教育基本方針」にしたがって推進していく。

地方の環境では偏差値よりも実学を求める親もいる中で、大事なものは「ふるさと教育」であり、地域の教育力、家庭の協力を頂いて、子どもたちの個性値を伸ばす教育を展開していきたい。教育予算についても今後も削ることなく対応していく。新しく「教育会議」を立ち上げ「人・物・財」の視点から十分に話し合い、どんな戦略が必要か検討し取り組んで行く。

標準高校の入試の結果、68名の合格を踏まえ、町が今後も小中、高校と十分に連携を持ち、振興会を通じて対応していく。

女性の活躍する社会の実現を

女性の役割を十分に考える

問 「女性が活躍する社会」、「女性が輝く社会」の実現は時代の趨勢^{すうせい}。本町人口の半数を超える女性の活躍は、町の未来を左右する重要なテーマ。

女性管理職の登用、女性雇用の拡大、女性農業後継者育成等々。更には標準町版「女性会議」を設置し、女性の視点からの声を町政に反映させる等、一歩踏込んだ対応が標準町の未来を変えていくのでは。

「雇用」、「教育」、「女性の輝く社会」等、各分野で地域活性・人口減少問題に挑戦する新しい発想を形にしていく標準町の組織力を

発揮するリーダーシップを期待。

答 現在、一般行政職については、82名中15名が女性。その内女性管理職は1名（専門職で1名）である。毎年の人事異動希望調査をとって対応。

登用については一定の経験・知識・指導力・社会性・実績・年齢的な面が必要であり、中途退職等マイナスイメージを考えると厳格な管理が求められる。

制度的、社会的、施設の問題があるが、互いに認識を共有し、トータルで女性の在り方、役割を十分に考えていきたい。

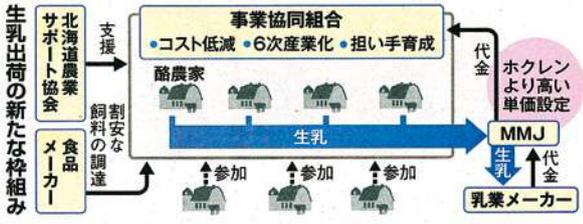


吉田 智 議員

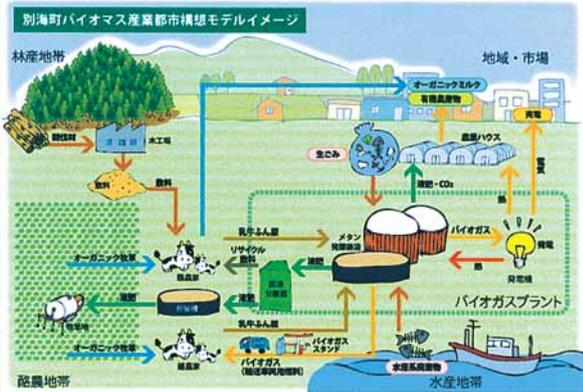
「標津農業」の政策展望を質す
問 TPP対策、農協改革が叫ばれる中、ホクレンの一元集荷、共同計算・共同販売のシステムを通さず※MMJの新たな送集乳システム **参考資料1** により、本州の乳業メーカーに生乳を出荷する酪農法人が増え、根管内の酪農2法人が、この枠組みに加入する見込みである。一方、標茶町においてJA標準茶と雪印種苗、町が出資し、自給飼料で、搾乳牛300頭、育成牛200頭で年間2400トンの生乳生産を目指す「TACS産

MMJ
TACSLべちや

参考資料1



参考資料2



しべちや」が4月より生乳生産を始める。当町を支える柱梁である「標津農業」の政策展望を質す。
答 本町の存亡に係る課題故に、総花的答弁にならぬ様、JA標準と一体を成し、直営酪農法人を含め検討を重ね、ビジョンを策定する。

JA標準とビジョンを策定する

循環型環境システム
バイオマスエネルギーの有効利用を…
問 家畜ふん尿の適切な処理対策として、別海町のバイオマス産都市構想 **参考資料2** に基づく、バイオマスプラント建設がある。
本町のバイオマスエネルギーを有効活用した総合的な循環型環境システム構想の具現性を問う。

「人工腐植化技術」と環境保全型かんがい排水事業で対応を…

又、「国営環境保全型かんがい排水事業」の導入の検討を推進する。
認知症等徘徊高齢者に「見守りサービス」の貸与を
問 新年度予算に、徘徊の見られる認知症高齢者にGPS端末を貸与し、徘徊した場合に、位置情報システムにより徘徊者の現在地を特定し、早期発見を目的

答 浦本農林水産課長
本町は、鉄触媒による人工腐植化技術を循環型環境システム構築事業として推進し、環境対策・コミュニティビジネスとして展開して行く。（大手建設業社と提携予定）

「人工腐植化技術」と環境保全型かんがい排水事業で対応を…

再先端の「見守りサービス」
答 導入システムに関しては、精査し、より有効な機能の物とする。該当高齢者の把握には、充分な留意を計る。

とした「認知症等徘徊高齢者対策事業」が計上されている。介護家族にとつては、歓天喜地の思いであろう。
再先端の「見守りサービス」 **参考資料3**



国保税の軽減対策と 広域化について

早期に病気の発見と 早期診療で医療費減を



高橋 幹雄 議員

問 去年10月に「町民アンケート」を実施した。その中で「3〜4年前と比べて暮らしが苦しくなった」が62%だった。その理由のひとつとして、国保税、介護保険料負担増が59%（複数回答）だった。又、回答者の77%が国保加入者で、その12%が「負担が大きくて払えない」、76%が「完納しているが負担が大変だ」との回答。負担増の要因は、国の

社会保障予算の削減によるもの。町の軽減策として①町民の健康づくり、より力を込め医療費を抑える。②減免制度を条例化して明確にする。③一般会計から法定外繰入れをして引き下げる。国保の運営が町村から2018年度より都道府県に移行するとされているが①医療費の抑制、自己負担増、保険料の引き上げ、徴収の強化になるのでは。②広い北海道では無理ではないか。③地方六団体の対応は。

答 国保加入者は自由業、農林水産業、退職者が加入している。年齢構成も高く、低所得者も多く、国保会計は慢性的な赤字となっている。国保世帯は町民の約50%だ。国保税は税額の差が大きく、全国で5倍、全道でも2.6倍の格差がある。根室管内では保険税が高く、道内ベスト10に入る町もある。保険料の軽減策として提案にある医療費の抑制については、町としても努力してきた。早期発見、早期治療、何よりも予防が大事であり、特定健診は19%から30%に上がっている。目標の60%に向けて受診環境を整えていく。減免制度の周知については、制度を周知するだけではなく、金額を明示したり、属人的に制度該当者であることを知らせる事が必要との考えから、今後研究していく。一般

会計からの法定外繰り入れについて、国保税が安くなったと実感してもらうには、相当の処置を構じる必要がある。保険税の負担は、低所得者にとって大きいと理解しているが、財政見通しの問題がある。平成28年から普通交付税が減少すると思われる。これを踏まえて来年にしっかり見通すことが必要になる。広域化の地方六団体の対応は、（知事会）結果的に財政的負担を押しつけられることは断じて認められない。（全国市町会）財政基盤の強化を図ることが必要。国が財政支援すると言ったことで、基本的に自治体と丁寧な協議し、確実に反映することを求めている。（全国町村会）財政要

平成27年度 第1回 総合検診
(特定健康診査・がん検診・他)のご案内

健診日 6月11日(木) 川北
 6月12日(金) 標津
 6月13日(土) 標津

受付時間 午前6時～10時30分

会場 11日 川北生涯学習センター
 12日・13日 標津町保健福祉センター

因をはじめとして、都道府県が担うことを基本としたことを評価して、構造的問題の解決策を先に示してほしいとの対応。広い北海道では無理との指摘だが、北海道内では、人口の大小に大きな差があり、同等にやるとしたら難しいのでは。医療費は自己負担増も大きくなる。国費が投入されなければ上ることになるが、現在は不明。今後、全国町村会とも連絡をとり対応していく。

予算審査特別委員会

平成27年3月10日～13日

平成27年度 予算原案可決

総額 87億5,502万円

一般会計	57億2,000万円
7 特別会計	21億1,384万円
病院事業会計	9億2,118万円

平成27年度標津町一般会計を含む9会計予算については、議長を除く10名の議員により予算審査特別委員会（大垣勇委員長・南憲治副委員長）を設置し、3月10日から13日の4日間にわたって慎重に審議した結果、本会議において全会一致で可決しました。



南 憲治副委員長



大垣 勇委員長

予算審査報告

事件の番号	事 件 名
議案第8号	標津町手数料条例の一部を改正する条例制定
議案第11号	標津町介護保険条例の一部を改正する条例制定
議案第14号	標津町医療技術職員等養成修学資金貸付条例制定
議案第15号	標津町医療技術職員等確保対策貸付金条例制定
議案第16号	標津町国民健康保険標津病院設置等に関する条例の一部を改正する条例制定
議案第17号	標津町立幼稚園設置条例の一部を改正する条例制定
議案第29号	平成27年度標津町一般会計予算
議案第30号	平成27年度標津町国民健康保険特別会計(事業勘定)予算
議案第31号	平成27年度標津町国民健康保険特別会計(病院事業)予算
議案第32号	平成27年度標津町介護保険特別会計(事業勘定)予算
議案第33号	平成27年度標津町介護保険特別会計(サービス事業勘定)予算
議案第34号	平成27年度標津町後期高齢者医療特別会計予算
議案第35号	平成27年度標津町簡易水道特別会計予算
議案第36号	平成27年度標津町下水道特別会計予算
議案第37号	平成27年度標津町金山地域休養施設等特別会計予算

人口減少時代に挑戦する「政策パッケージ2015」

平成27年度の主な事業

「海・山・川・大平原がおりなす 感動の大地・標津町」の実現に向けて、「ふるさと新生プラン・ステップⅡ」および「政策パッケージ2015」(28事業)で掲げた事業の確実な実践を進めます。

結婚・子宝・子育ての政策

8事業

定住・生活・地域の政策

7事業

健康・福祉・防災の政策

6事業

産業・起業・環境の政策

7事業

平成27年度 一般会計予算

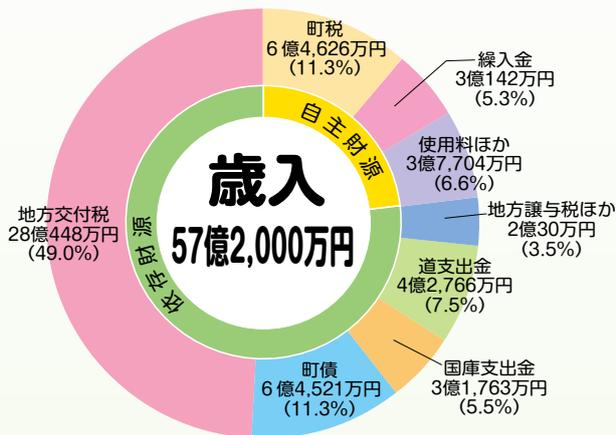
対前年当初比
5.7%増

57億2,000万円

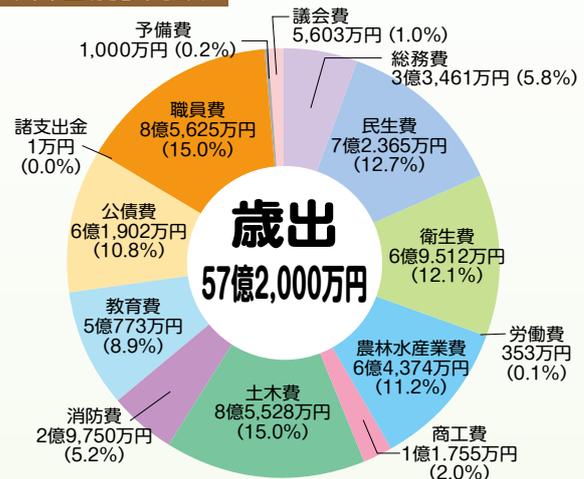
でスタート

～町民力・地域力・行政力の結集によるまちづくりの実践～

「財源別」内訳



「科目別」内訳



※自主財源 13億2,472万円 (23.2%)

※依存財源 43億9,528万円 (76.8%)

町債 = 借金

公債費 = 返済金

各会計予算額

会計区分		平成27年度	平成26年度	対前年度比較 (%)
一般会計		57億2,000万円	54億1,100万円	5.7
特別会計	国民健康保険特別会計 (事業勘定)	10億4,096万円	9億4,424万円	10.2
	介護保険特別会計 (事業勘定)	4億5,261万円	4億5,743万円	▲ 1.1
	介護保険特別会計 (サービス事業勘定)	2,533万円	2,724万円	▲ 7.0
	後期高齢者医療特別会計	1億1,442万円	1億2,355万円	▲ 7.4
	簡易水道特別会計	1億5,963万円	2億1,123万円	▲ 24.4
	下水道特別会計	3億1,499万円	3億2,343万円	▲ 6.8
	金山地域休養施設等特別会計	1,942万円	1,673万円	16.0
	特別会計合計	21億1,384万円	21億385万円	0.5
企業会計	国民健康保険特別会計 (病院事業)	7億9,869万円	7億8,877万円	1.3
	収益的収支	7億9,869万円	7億8,877万円	1.3
	資本的収支	1億2,249万円	8,251万円	48.5
企業会計合計		9億2,118万円	8億7,128万円	5.7
総計		87億5,502万円	83億8,613万円	4.4

※各会計の端数処理により、合算と合計額が合わない場合があります。

議員の出欠状況

出席……○ 欠席……×

【定例会】議員11人

年・月・日	氏名 議会名	氏名										
		稗貫	吉田	藤本	南	大垣	石橋	藤巻	木下	高橋	小川	田中
H26.6.11	第2回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H26.9.18	第3回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H26.9.19		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
H26.12.11	第4回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H26.12.12		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H27.3.6	第1回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H27.3.9		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H27.3.13		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【決算審査特別委員会】委員数9人

年月日	氏名	氏名								
		稗貫	吉田	藤本	南	石橋	藤巻	木下	高橋	小川
H26.10.27		○	○	○	○	○	○	○	○	○
H26.10.28		○	○	○	○	○	○	○	○	○
H26.10.31		○	○	○	○	○	○	○	○	○

【文教福祉建設常任委員会】委員数5人

年月日	氏名	氏名				石橋
		藤本	藤巻	高橋	南	
H26.4.17		○	○	○	○	○
H26.5.13		○	○	○	○	○
H26.6.4		○	○	○	○	○
H26.7.4		○	○	○	×	○
H26.8.12		×	○	○	○	○
H26.9.11		○	○	○	○	○
H26.10.14		○	○	○	○	○
H26.12.2		○	○	○	○	○
H26.12.5		○	○	○	○	○
H27.1.19		○	○	○	○	○
H27.2.23		○	○	○	○	○

【臨時会】議員11人

年・月・日	氏名 議会名	氏名										
		稗貫	吉田	藤本	南	大垣	石橋	藤巻	木下	高橋	小川	田中
H26.5.15	第1回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
H26.10.15	第2回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H26.11.26	第3回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H27.1.15	第1回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【予算審査特別委員会】委員数10人

年月日	氏名	氏名									
		稗貫	吉田	藤本	南	大垣	石橋	藤巻	木下	高橋	小川
H27.3.10		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
H27.3.11		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H27.3.13		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【議会運営委員会】委員数5人

年月日	氏名	氏名				
		石橋	木下	小川	大垣	藤巻
H26.6.4		○	○	○	○	○
H26.9.11		○	○	○	○	○
H26.12.5		○	○	○	○	○
H27.3.2		○	○	○	○	○

【広報特別委員会】委員4人

年月日	氏名	氏名			
		大垣	南	石橋	吉田
H26.4.9		○	○	○	○
H26.4.18		○	○	○	○
H26.4.22		○	○	○	○
H26.6.11		○	○	○	○
H26.7.8		○	○	○	○
H26.7.16		○	○	○	○
H26.7.24		○	○	○	○
H26.9.18		○	○	○	○
H26.10.10		○	○	○	○
H26.10.17		○	○	○	○
H26.10.22		○	○	○	○
H26.12.11		○	○	○	○
H27.1.9		○	○	○	○
H27.1.16		○	○	○	○
H27.3.9		○	○	○	○
H27.4.3		○	○	○	○
H27.4.13		○	○	○	○
H27.4.17		○	○	○	○

【総務経済常任委員会】委員数5人

年月日	氏名	氏名				
		稗貫	大垣	小川	吉田	木下
H26.4.17		○	○	○	○	○
H26.5.23		○	○	○	○	○
H26.6.4		○	○	○	○	○
H26.7.1		○	○	○	○	○
H26.8.5		○	○	○	○	○
H26.9.11		○	○	○	○	○
H26.10.10		○	○	○	○	○
H26.11.10		○	○	○	○	○
H26.12.5		○	○	○	○	○
H27.1.15		○	○	○	○	○
H27.2.18		○	○	○	○	○
H27.2.23		○	○	○	○	○
H27.3.2		○	○	○	○	○

【全員協議会】委員数11人

年月日	氏名	氏名									
		稗貫	吉田	藤本	南	大垣	石橋	藤巻	木下	高橋	小川
H26.4.17		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H26.6.11		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H26.9.11		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H26.11.26		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H26.12.5		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H26.12.12		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H27.2.23		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H27.3.9		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

寄稿

人口減少に挑む町!

合田商店
 代表 合田 泰之

その1

私が学校を卒業して標津町川北に住んで28年、その間たくさんの人と出会い色々な経験させて頂きました。楽しかったのであつという間に50歳です。

当時、色々な地域の行事では言われるままにお手伝い、しかしいつの間にか若い人にお願する側に…。とりあえず自分が昔疑問を感じたことは改善しながらやっていかなきゃ!と、色々考えているうちに「イベントには遊び心と笑い声が必要」と思うようになりました。日本の神話にある天の岩戸のお話、『閉じてもっていた天照大神が天の岩戸を開けたのは踊って楽しむ八百万の神々の笑い声に引き寄せられたから』(詳しくは日本の神話+天の岩戸(検索↑))とか。楽しそうな笑い声には人を引き寄せる力があるのだ

と思います。

行事につきものの荷物運び、中味にちよつとくだわつて(遊び心)仕事が増えたけど結果は大成功!疲れを癒してくれる仲間との楽しいおしゃべりと笑い声、そしてみんなの後始末、片付けの手を抜いて苦情が来てしまつては全てが大無し、そんなことはもつたない。主催者側はつねに少々の問題を抱えているもの。でも、しかめつ面ではこれまた大無し、苦しい時も笑顔を忘れずが大切。イベントの盛り上がりは地域の元気のバロメーター、水キ拉里、冬祭り、そして標津町、楽しいところに人は集まる!

その2

私の学生時代の専攻は宇宙工学です。今も新情報を「コッソツ仕入れていきます。そこで最近興味を持ったものを一つ紹介します。それは宇宙エレ

ベーターという技術です。文字通りロケットではなくエレベーターに乗って宇宙に行くという話です。もともになつたのはイギリスのSF作家アーサーCクラークの「楽園の泉」という小説です。東京スカイツリーを造つた日本の会社が立てた計画で2050年完成を目指しています。

まず、静止衛星軌道上(高度36000km)に拠点を造り、そこから赤道上にケーブルオンナノチューブのケーブルを降ろしていきます。重力と遠心力のバランスを取る為、反対方向にもケーブルを延ばしていきます。赤道から宇宙に延びるケーブルを昇り降りするエレベーターの完成です。

当然課題は山積みです。ケーブルに使う、スチールワイヤーの1/5の重さで20倍の強度を持つカーボンナノチューブの結晶は現在2cmが限界、それを宇宙から赤道上に降ろしていく技術もエネルギーの供給も研究中です。しかし必要は発明の母、いずれも実現に向け多くの科学者が研究に取り組んでいます。完成する

と宇宙に行く為にロケットに乗るような訓練はいらなくなり費用も格安になるのです。速度は時速200km、2時間で現在の国際宇宙ステーションの高度に着きます。どうですか2050年まで長生きして見たくなりましたか?ちなみに私は高所恐怖症です。

最後に

今、限界集落という言葉が広がっています。私が後期高齢者の次に嫌いな行政用語です。いくらお年寄りの割合が増えても限界ということはありません。現に川北のしらかば会は地域をけん引するくらいに活発です。5300人の標津町民が団結し、生き残るための知恵を出し合い、小さくても笑顔のある町、夢のある町、長生きしたくなる町、子育てをしたくなるような町、要するに楽しそうで人が集まってくるような雰囲気を作っていきますか。そして標津発プレミアム商品をどんどん発信していきますよ。私もいつも考えていますよ、この町が大好きですから。

編集室

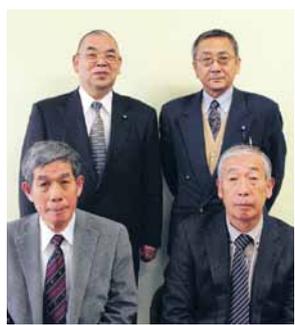


当四人の編集子による最終号となりました。139号より、写真図表を豊富に掲載し、146号より、全頁フルカラー印刷とし、147号より、「広報しべつ」の色合いに合わせ、季節感を高め、「読んで頂ける紙面」作りを心掛けて来た所存でございます。

更に、150号特集号を発行し、前人の足跡を辿る事ができました。前人樹を植えて後人涼を得よう

私達の「議会だより」に対し、ご評言、ご協力を賜わり、誠にありがとうございました。新編集子により発行される本紙に対しても、今迄同様のご支援とご愛読をお願い申し上げ、擲筆させていただきます。

(吉田 智)



「4年間ありがとうございました」

幸智 昌 石橋 吉田 委員 勇 憲治 委員 大垣 南 委員 長 廣報特別委員会 孝幸 田中 議長